

八幡市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

医療的ケア児支援事業

事業の経過・背景・課題

養護教諭が職務上行うことができない医療行為を適切にサポートするとともに、保護者および教職員等の関係者が連携を図り、児童自身の自己管理能力の育成を促し、児童が健康で安全かつ安心に学校生活を送れるよう支援する必要がある。

取組内容

交付実績額： 277 千円

- ・医療的ケアが必要な児童が在籍する小学校において受け入れ体制を確保するため看護師を派遣し、以下の取組を実施
- ①医療的ケアの実施・見守り
- ②医療的ケア児に関する連携調整
- ③学校等での留意事項の検討・確認
- ④環境の整備や当該児童に対する関わり方など、学校職員に対する支援・助言指導
- ⑤学校等で設置が必要となる備品類の選定



事業の成果・今後の展望等

看護師を派遣することで医療的ケアを必要とする児童及びその保護者の心理的安全を確保し、安心・安全な学校生活を過ごすことができる環境を整備することができた。

適切な医療的ケアの実施・見守りをとおして、児童自身の自己管理能力を育成することができた。

引き続き児童の自立を促すため、継続して看護師の配置を行う。

問い合わせ先

八幡市教育委員会学校教育課 (075-983-1127)

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

八幡市

栄養士配置事業

事業名

事業の経過・背景・課題

小学校では自校調理で、中学校では平成29年5月より親子方式で学校給食を提供しているが、年々増加する食物アレルギー対応を要する児童生徒への対応や献立研究による献立充実など、より安心安全で充実した学校給食を実施する必要がある。

取組内容

交付実績額： 940 千円

- ・栄養教諭が未配置の小学校に栄養士を配置

〔配置により期待できる効果〕

- ・学校給食を安心安全に管理・運営
- ・よりきめ細やかなアレルギー児童生徒への対応
- ・食育に関する取組の充実
- 「やさいのひみつを探ろう」をテーマに、ゲームを取り入れた食育授業を実施

事業の成果・今後の展望等

献立研究による献立の充実や、食物アレルゲンの確実な除去対応など、より安心安全で充実した学校給食を実施することができた。

また、これまで取り組んできた「食育月間」「食育の日」に加えて、食育に関する取組を更に充実させることで、子どもたちに正しい食習慣や食に関する知識を身に付けさせるとともに、食を通して自身の健康や環境問題といった様々な社会課題について考える機会を創出し、持続可能な社会を担う人材を育成する。

問い合わせ先

八幡市教育委員会学校教育課（075-983-1127）

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

八幡市

事業名

多様な学びの場（スペシャルサポートルーム）充実事業

事業の経過・背景・課題

本市では、中学校の不登校の出現率が、全国平均と比較して高くなっています。教育支援センターにおける支援対象者も増加傾向にある。小学校でも同様の傾向があり、教育支援センターと連携しながら支援を行うケースも増加している。

特に、不登校生徒が多い中学校には不登校支援を担当する教職員を配置し、別室での支援を行うことで生徒の居場所づくりに努めているが、様々な要因に十分対応できない現状もある。小学校でも教室以外の居場所の確保、担任以外の対応者において各校対応に苦慮している状況があり、対応者確保の必要性を感じている。

取組内容

交付実績額： 9,319 千円

- 市内すべての中学校にスペシャルサポートルームを設置し、常に非常勤講師や支援員がいる状況を作り、対象生徒が少しでも学校に行こうと思えるような環境を作る。
- 学びの保障、居場所確保のために、非常勤講師、スペシャルサポートルーム支援員を配置
- スペシャルサポートルームへの授業配信の実施
- SC,SSWとの連携、支援センターとの連携により充実した指導、支援を行う

事業の成果・今後の展望等

- 学校には行けるものの、教室には入りづらい生徒の居場所をどの学校にも確保することができた。
- スペシャルサポートルームは、安心できる環境を提供するとともに、支援員による学習支援を行うことで保護者、生徒のニーズに応えることができた。
- これまで担任や学年所属の教員の献身的な努力で別室を運営していた学校も、専任の非常勤講師や支援員が常駐することで、授業準備や生徒指導などの業務に注力することができた。
- 教室運営を中心としながらも、教室に入りづらい児童の一時的なサポートや、登校を促すアウトリーチを行い、担任との連携を大切にした不登校支援を行っていく。
- 小学校での不登校の状況を鑑みて、事業の小学校への拡充を検討していく。

問い合わせ先

八幡市教育委員会学校教育課 (075-983-1127)

八幡市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

機動的 児童生徒個別支援事業

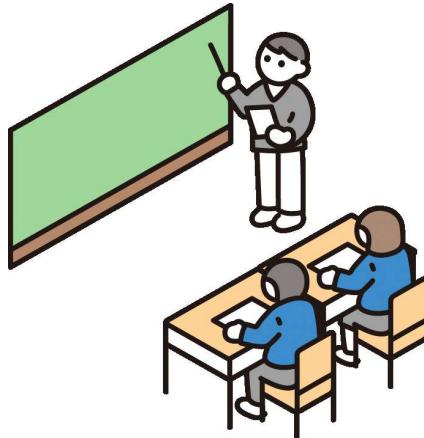
事業の経過・背景・課題

八幡市では、平成24年から複数の指導による落ち着いた学習環境の確保や不登校児童生徒等の学力保障のため、独自に学習支援員を各校に配置しているが、学校が抱える教育課題は多様化し、増大する個別の児童生徒のニーズに十分に対応できなくなってきた。

取組内容

交付実績額： 918 千円

- ・個別に支援が必要な児童生徒への対応などに向け非常勤講師を確保し、機動的に以下の取組を実施
- ①いじめ等問題行動発生時の見守り
- ②不登校の初期段階での校内での居場所の確保
- ③校外学習での個別の付き添い対応
- ④養護教諭不在時の対応
- ⑤教員の病休時などの授業代行
- ⑥個別児童生徒の課題への対応



事業の成果・今後の展望等

問題事象が解消されるまでの短期的な授業補助や臨時の授業代行、課題の多い児童生徒の校外学習への付き添い等機動的に活用することで、突発的に発生する学校のニーズに応じた支援を行うことができた。

迅速な対応、児童生徒一人一人に応じた支援は、児童生徒の学校への満足度の向上や保護者の学校への信頼・安心感の向上に繋がるため、今後も年間を通した配置を行う。

八幡市

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

「学びの土台」育成事業

事業の経過・背景・課題

通級指導教室開設当初から、認知能力強化トレーニングとして書籍版のコグトレを活用してきた。基本的に認知能力強化トレーニングは「学力の土台作り」であり、短期的な評価は難しいものではあるが、課題が大きかった児童生徒が落ち着いて学習に取り組めるようになった、教職員の負担軽減に繋がったという声も聽かれる。

取組内容

交付実績額： 199 千円

学力の土台となる記憶、知覚、注意、言語理解、判断・推論といった認知能力の強化が見込まれるコグトレオンラインを 1 つの小学校と市内全支援学級に試行導入し学習効果を高めることにより学力向上を図る。

〔コグトレ〕

認知機能に着目した包括的支援プログラムであり、記憶力・聞く力・見る力・集中力・想像力・読む力等の認知機能を高めるとされている。

事業の成果・今後の展望等

- ・2か月に1回の頻度でコグトレミッションを行うほか、日々の活用は、朝の学習の他、授業で課題を早く終えた児童が自主的に取り組むことで、認知トレーニングを継続して行うことができた。特別支援学級でも同様に、個別の学習としてトレーニングが行えた。
- ・数値として効果が見えるものではないため、今後は、継続した取り組みとして定着させることが今後の課題である。
- ・集中力を高めたり、心を落ち着かせる目的での利用もでき、通級指導教室等への導入拡大も検討しながらさらに広めていきたい。

問い合わせ先

八幡市教育委員会学校教育課（075-983-1127）